



米国子会社 Aioi Nissay Dowa Insurance Services USA Corporation の 保険ソフトウェア「MOTER」が「CES2020」で紹介されました

2020年2月12日

MS & ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、米国子会社 Aioi Nissay Dowa Insurance Services USA Corporation (以下、AIS)にて研究開発中の保険ソフトウェア「MOTER—Mobility On The Edge in Real-time—」(以下、MOTER)が、「CES 2020」で展示されたことをお知らせいたします。

1. 概要

CES 2020 は、1月7日(火)から10日(金)まで(現地時間)米国ラスベガスで開催された世界最大級の家電見本市です。近年は、ハイテク企業に加えて自動車メーカーがその年の先端技術を披露する場となっています。



「MOTER」はエッジコンピューティング技術^{*1} およびデータサイエンス・AI を活用した保険ソフトウェアです。自動運転社会の到来に伴い保険のあり方も変化することを見据える中、MOTER で膨大なデータをリアルタイムに処理することで、より適正な保険商品やサービスの提供を目指します。

AIS は、MOTER へのエッジコンピューティング技術の活用に関し、DENSO Seattle Innovation Lab (以下、DENSO SIL) と共同で実証実験を行なってきました。今般 CES 2020 にて、DENSO SIL が Amazon Automotive 展示ブースでの出展に際し、DENSO SIL のエッジコンピューティング技術および Amazon Automotive のクラウドプラットフォームを活用した具体的なユースケースとして、MOTER が紹介されました。

2. 当社の取り組みおよび今後について

当社は、テレマティクス自動車保険を2004年から発売してきた日本国内における同分野のフロントランナーであり、2015年3月には英国テレマティクス保険会社の大手であるBIG社(Box Innovation Group Limited)を買収し、そのノウハウを活用する等、最新の自動車保険・サービスの研究・開発を行ってきました。自動車業界は、100年に一度の変革期と言われています。CASE^{*2}に代表される技術発展に伴い、クルマの所有から利活用への転換が進むとともに、移動手段の多様化・移動のサービス化(MaaS^{*3})が進展しています。こうした中、当社は当該分野においてテレマティクス技術を活用し、保険面での協業を国内外で強化していきます。

今後も日本・米国・欧州・中国・東南アジアの5極を中心として、グローバルにテレマティクス・モビリティサービス事業を展開し、特色ある個性豊かな会社の確立を目指します。

- ※1 クラウドでデータを集約・処理するだけでなく、分散してデータ処理も行うネットワーク技法
- ※2 **Connected** (コネクティッド)・**Autonomous** (自動運転)・**Shared/Service** (シェア/サービス)・**Electric** (電動) の 4 つの頭文字をとった造語で自動車産業に大変革期をもたらすと言われるキーワード
- ※3 「**Mobility as a Service**」の略語で交通インフラにおいて「移動」をサービスとして提供すること

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs (持続可能な開発目標) を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。

主に貢献しているSDGs目標



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

